

平成26年度の事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日

特定非営利活動法人安房文化遺産フォーラム

1 事業の成果

法人設立前より25年にわたる文化財保存運動は、館山海軍航空隊赤山地下壕跡や里見氏城跡「稲村城跡・岡本城跡」、青木繁《海の幸》誕生の家・小谷家住宅の史跡化とともに、有形無形の文化遺産を活用する「館山まるごと博物館」の市民活動は、先進的なエコミュージアムの取り組みとして評価を得てきた。文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化」事業においては4年連続で採択され、「ヘリテージまちづくり講座」やシンポジウムなどを通して専門的知識や技術を習得する人材育成と普及啓発を図ってきた。

ガイド事業においては、2011年の東日本大震災以降激減した来訪者数は未だ回復しているとはいえないが、平和・交流・共生の精神を学べるスタディツアーを「ピースツーリズム」と位置付け、従来の平和学習や人権研修ばかりではなく、地域づくり視察などのスタディツアーが広く国内外から来訪するようになっている。毎月第一日曜午前には、個人や小グループを対象に行なっている赤山地下壕の無料ガイドサービスは10年となった。

これらの活動に対して、館山市長・館山市教育長および館山市観光協会長から感謝状を授与された。「戦後70年」の2015年には、「第19回戦争遺跡保存全国シンポジウム千葉県館山大会」の開催が決定し、「ピースツーリズム」をさらに発展する契機とするために、準備を進めている。

館山市内でも少子高齢過疎化が進む富崎地区において、「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会（以下、青木保存会）」の事務局として、10年にわたり漁村の活性化に取り組んできた。核となる小谷家住宅（館山市指定文化財）の保存・活用では、全国の著名美術家によるNPO法人青木繁「海の幸」会（大村智理理事長・吉岡友次郎事務局長）のチャリティ（青木繁「海の幸」オマージュ展）と連携しながら、館山市「ふるさと納税」を通じて修復基金を募る活動を大きく展開している。現在、来年4月の公開を旨とし、2カ年事業として文化財部分の修復工事をすすめている。

民官協働によるこの活動は、ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）を授与された。

平和学習から始まった安房の高校生によるウガンダ支援活動は、3校（安房南高校→安房高校→安房西高校）にわたり20年目を迎えた。窓口を担う当NPOでは、館山信用金庫ふるさと応援基金の助成により20年記念誌（和英版）を編集発行し、安房・平和のための美術展実行委員会をはじめ多くの支援者の寄付により現地のアワミナミ洋裁学校に記念像（船田正廣制作「安房南高生」ブロンズ像）を寄贈した。

2 事業の実施に関する事項

1. 文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業と調査研究

(1) ガイド事業

- ① 事前の依頼に応じて、有償プログラム（座学・フィールドワーク・ガイドブック1,500円/人）

※課題：赤山地下壕跡の通り抜け禁止により、大型団体の案内に支障がある。

・2014年度ガイド実績（上段：団体数、下段：人数、赤山ガイドサービス含む） ガイドスタッフ延べ240名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	294	266	216	55	174	154	366	126	61	132	217	365	2,426
団体	4	7	9	6	12	8	12	8	4	6	9	15	100

※2013年度=2,671名・90団体 2012年度=2,266名・69団体 2011年度=2,733名・78団体

※例年実施校：昭和女子大学附属高校、わせがく高校、渋谷幕張学園中学、千葉県立東葛飾高校

- ② 毎月第一日曜午前、個人・小グループ対象に赤山地下壕の無料ガイドサービス
③ 広島県観光協会（石本秀紀専務理事）に修学旅行誘致活動

(2) 調査研究事業

① 戦跡関連

- ・戦跡調査研究、整備（草刈り等）、保存への呼びかけ（掩体壕・「館砲」烹炊所・128高地等）
- ・戦時中の館山（那古船形地区）／戦争体験証言の収集（赤山地下壕跡・直接軍政）
- ・戦跡ガイド講座・布良を語る会

② 里見氏関連

- ・国史跡里見氏稲村城跡保存管理計画策定委員会(館山市教委、愛沢伸雄委員)
- ・国替 400 年供養祭(房総里見会)10 月 18 日・国替 400 年事業実行委員会里見シンポジウム 10 月 19 日
- ・南総里見まつり芸能祭参加「八犬伝」紙芝居 10 月 18 日
- ・JR 東日本「大人の休日」カルチャー講座(東京・秋葉原)4回 2~3 月

③ 安房の海洋文化、美術史、転地療養、震災復興、産業史(水産業・房州団扇・房州白土)など

- ・小谷家資料 ・小原家資料 ・石井家資料 ・博物館所蔵関澤明清資料

2. 書籍等の発行事業

地域紹介のガイドブックを作成し販売。館山市内の一般書店や来訪者へ有償頒布、講演資料として無料頒布

- ・あわがいどシリーズ 4 部作

『①戦争遺跡』『②房総里見氏』『③海とともに生きるまち』『④安房古道を歩く』

- ・論文集『足もとから地域をみる～授業づくりから地域づくりへ』
- ・里見叢書 1 『今よみがえる里見忠義の足跡』
- ・あわがいどマップ『①海軍のまち館山』『②黒潮とともに生きる漁村』
- ・食文化レシピ集『おらがごっつお富崎』
- ・『小学生がつくった館山のタカラガイ図鑑』
- ・『館山まるごと博物館』(冊子/DVD/パンフレット日英韓)
- ・『ヘリテージまちづくりのあゆみ』
- ・『青木繁が愛した神話のふるさと布良』
- ・『安房の高校生によるウガンダ・交流 20 年のあゆみ』

3. その他の非営利事業

A. 「館山まるごと博物館」のまちづくり事業

(1) 文化財の保存・活用とNPO会員の親睦

① 小高記念館

- ・開館運営： 毎週月曜日 10:00~15:00 (林久子・酒井浩子)
- ・知恵袋講座 第4火曜日 ⇒ 文化庁事業のヘリテージまちづくり講座に振替
- ・建物の価値評価

② 青木繁『海の幸』誕生の家・小谷家住宅(館山市指定文化財/当主：小谷福哲)

⇒(2)富崎地区のまちづくり

③ 小原家住宅と椿庭園(当主：村上吉夫)

⇒(3)松岡区のまちづくり (4)ヘリテージまちづくり講座

- ・NPO会員の花見懇親会 4月13日 70名参加

(2) 富崎地区のまちづくり

当NPO法人が「青木繁(海の幸)誕生の家と記念碑を保存する会(以下、青木保存会)」事務局付託

① 小谷家住宅の修復・公開のための「四者協議会」(運営コーディネーター:愛沢伸雄)

小谷家当主/青木保存会/NPO法人青木繁「海の幸」会/館山市教育委員会生涯学習課

修復基金の状況 事業費:全体事業費(概算): 46,027 千円

文化財部分:28,188 千円=本体工事費 24,840 千円+設計管理費 3,348 千円

管理棟部分:17,839 千円=本体工事費 17,839 千円

内訳

(単位千円)

【文化財部分】	H26 年度	H27 年度	合 計	備 考
指定文化財保存修理 事業補助金	782	4,856	5,638	補助率:20%
小谷家住宅保存活用 支援事業補助金	3,128	7,437	10,565	館山市ふるさと納税 H27年5月14日現在の積立額
小 計	3,910	12,293	16,203	
募金目標額	0	11,985	11,985	*
合 計	3,910	24,278	28,188	
【管理棟部分】	H26 年度	H27 年度	合 計	備 考
NPO青木繁「海の幸」 会支援金 (限度額)	14,500	0	14,500	
負担額	3,339	0	3,339	
合 計	17,839	0	17,839	
【事業・総合計】	21,749	24,278	46,027	
現在資金	18,410	12,293	30,703	
負担額	3,339	0	3,339	
募金目標額	0	11,985	11,985	*

* 館山関係で 500 万円を集める方針

② 青木繁「海の幸」オマージュ展 第7回館山展

8月5日～31日 渚の博物館ギャラリー／8月5日～24日 館山市コミュニティセンター

主催:NPO法人青木繁「海の幸」会、館山市・館山市教育委員会

協力:青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会／協賛:館山美術会(今泉俊一会長)

・青木保存会および館山美術会から出品 (展示委員長:溝口七生)

・青木保存会・当NPO・館山美術会への協力依頼・コミセン受付監視ボランティア、販売促進

【参考】	第5回 京都展	5月20日～25日	ギャラリーヒルゲート(京都)
	第6回 東京展	7月18日～8月1日	永井画廊(東京・銀座)
	第8回 福岡展	9月6日～21日	みぞえ画廊(福岡)
	第9回 田園調布展	12月6日～21日	みぞえ画廊(東京・田園調布)

③ 青木繁《海の幸》フォーラム (文化庁事業) 7月27日 南総文化ホール小ホール

基調講演「青木繁を通してみる文学と美術の交流」 森山秀子氏(石橋美術館学芸課長)

パネルディスカッション

・小谷福哲(小谷家当主) ・吉武研司氏(NPO法人青木繁「海の幸」会理事)

・島田吉廣(《海の幸》複製画製作者) ・愛沢伸雄(富崎史の調査報告) ・池田恵美子(コーディネーター)

(3) 松岡区(神戸地区)のまちづくり

福原有信を語り継ぐ会(吉田茂徳会長・和泉純子事務局)と協働で、調査研究・文化活動を実施

小原家「椿庭園」と連携し「椿の森プロジェクト」・房日新聞連載「明治期の人びとの交流とネットワーク」6回

・日本樹木医会千葉県支部南ブロックと連携し、研修会(ヘリテージまちづくり講座)

・館山ロータリークラブへの依頼・卓話3月25日

富崎地区と連携を図り、「館山まるごと博物館」活動を展開

(4) ヘリテージまちづくり講座 (文化庁事業)

4月28・29日	・ツバキの里・小原家庭園の剪定教室	齊藤陽子(日本樹木医会)
6月5日	・青木繁記念碑の設計者・生田勉	山下泉(多摩美大名誉教授)
6月21日	・ツバキの里・小原家庭園の挿し木教室	富塚武邦(日本樹木医会)

7月1日	・フィールドワーク:館山の地層	高橋直樹(千葉県立中央博物館)
9月18日	・講演会「近代水産業のパイオニア関沢明清」	吉道悦子(金沢工業大学教授)
10月7日	・小原家住宅の保存	栄山慶二(歴史建造物修復)
10月26日	・佐倉まちづくり視察 (順天堂・堀田家・佐倉市立博物館)	木邨かおり(佐倉市立美術館)
12月7日	・講演会「明治に活躍した館山ゆかりの人びと ～福原有信と渋沢栄一をめぐって」	井上潤(渋沢史料館長)
2月1日	・バス視察「館山まるごと博物館」めぐり	館山観光協会会員対象
2月21日	・シンポジウム「館山まるごと博物館 ～戦跡と文化財を活かしたまちづくり」	十菱駿武・村上有慶(戦跡全国ネット)
3月5日	・古文書修復講座・実習	安藤憲和(安藤表具店主)

(5) 「戦後70年」に向けた取り組み

戦争遺跡保存全国ネットワーク(共同代表:十菱駿武・村上有慶、運営委員:愛沢伸雄)

- ① 第18回戦争遺跡保存全国シンポジウム神奈川県川崎大会 8月16日～18日
- ② 第19回千葉県館山大会(2015年)実行委員会・戦跡ネット運営委員会合同会議 2月21日

(6) 安房の地域活動との協働

- ① 「かいた婦人の村」(社会福祉法人ベデスタ奉仕女母の家、施設長:五十嵐逸美)
平和・人権研修の連携
活動支援 ・バザー 5月30・31日 9月19・20日 ・草刈り 6月4日 9月10日
・甘夏収穫支援 5月7日 ・夜祭 8月19日 ・学習ボランティア など
- ② 全日本年金者組合安房支部(支部長:田中房江、書記長:新屋敷孝)
行事などの情報交流、交流の推進、年金医療福祉のまちづくり活動、他支部へのツアー誘致
- ③ 第20回安房地域母親大会実行委員会(委員長:斎藤陽子、副委員長:池田恵美子)
9月28日 南総文化ホール小ホール 分科会/全体会:李政美コンサート
- ④ 安房・平和のための美術展実行委員会(実行委員長:橋本芳久) 8月23日～31日 枇杷倶楽部ギャラリー
- ⑤ 館山病院健康友の会(会長:諫川正臣、副会長:愛沢伸雄・新屋敷孝)9月21日感謝祭ウガンダ支援バザー
- ⑥ 館山市観光協会(会長:小金晴男、理事:愛沢伸雄) 5月15日 会長より感謝状授与
- ⑦ 安房歴史文化研究会(会長:天野努・事務局:石崎和夫)
公開講座 5月30日「小原家資料から館山の近現代史をみる」(愛沢伸雄)
- ⑧ 歩いて学ぶ里見氏の会(ブラさとみ)(会長:島田輝弥)

B. 国内交流

(1) 千葉県歴史教育者協議会 (安房支部代表:愛沢伸雄、当NPOは法人会員)

- ① 第66回歴史教育者協議会全国大会東京大会 8月1～3日 明治大学中野キャンパス
○地域に学ぶ集い「館山まるごと博物館～戦跡と文化遺産を活かした教育とまちづくり」世話人:栗山究氏
○分科会
・地域:愛沢伸雄「明治期館山の殖産興業と経済人ネットワーク～小原・福原・関澤の交流」
・思想・文化:池田恵美子「館山まるごと博物館～平和・交流・共生の歴史文化を活かした地域づくり」
・現代の教育と課題:河辺智美「安房の高校生によるウガンダ支援活動～交流20年の歩みと今後の展望」
・市民の歴史学習:関和美「NPOのガイド活動に参加して～戦中戦後の医療体制と図書館教育を考える」
- ② 千葉県歴史教育研究集会関東ブロック大会船橋集会 1月17・18日
・日本:池田恵美子「絵画から読み解く『館山まるごと博物館』—青木繁と倉田白羊を中心に—」

- ・地域:愛沢伸雄「館山病院と東京養育院安房分院の歩みから地域史をみる」
関和美「戦中戦後の医療体制と図書館を考える」
- ・平和と民主主義:河辺智美「安房の高校生によるウガンダ支援・交流 20 年のバトン」

(2) 大学との連携

- ① 千葉大学教育学部非常勤講師(愛沢伸雄) 後期 10 月～2 月 週 1 回(木)
- ② 東京成徳大学:房総の文化(前近代)「里見氏と南総里見八犬伝」(愛沢伸雄) 6 月 19 日
:房総の文化(近代)講義「南房総の戦争遺跡」(池田恵美子) 11 月 6 日
- ③ 流通科学大学:観光人材育成プログラム講義「潜在能力の発見と活用の技法」(池田恵美子) 8 月 6 日
- ④ 中央学院大学法学部(谷川・白水・川久保ゼミ)1年生オリエンテーション 6 月 7・8 日

(3) 全国の関係団体との連携

- ① NPO法人 全国生涯学習まちづくり協会(理事長:福留強)／聖徳大学生涯学習研究所
- ② 戦争遺跡保存全国協議会(共同代表:十菱駿武・村上有慶)
- ③ 文化財保存全国協議会(代表:十菱駿武)
- ④ 千葉県文化財保護協会(会長:鶴之沢康雄、副会長:天野努、評議員:愛沢伸雄)

C. 国際交流

(1) 高校生のウガンダ支援活動と交流

ウガンダ AWA-MINAMI (安房南) 洋裁学校 交流ブログ <http://awauganda.wordpress.com/>

交流窓口:スチュアート・センパラ氏(NGO ウガンダ意識向上財団=CUFU)

愛沢伸雄(当NPO代表) 河辺智美(安房高校卒業生・筑波大学大学院 2 年)

- ・私立安房西高校JRC(青少年赤十字)部 6 月 29 日 文化祭支援バザー(文具等)
- ・ウガンダ子ども絵画展 8 月 26 日～9 月 5 日 館山病院ギャラリー
- ・ウガンダ支援 20 年のつどい 9 月 7 日(日)安房西高会議室(スチュアート・センパラ氏来日中止)
- ・冊子「ウガンダ支援活動 20 年のあゆみ」を編集発行(和英版)

※館山信用金庫よりふるさと応援基金 10 万円助成、翻訳協力:矢田健志氏

- ・船田正廣制作「安房南高生(セーラー服)」ブロンズ像を記念贈呈 ウガンダに発送(12 月)

※安房・平和のための美術展よりチャリティ基金 10 万円寄付

(2) 日韓交流と調査研究

- ① エコミュージアム研究 ・チョンイルジ氏(韓国人・神奈川大学特別助手)の研究とコーディネート
 - ・韓国釜山大学大学院文献情報学部 6 名来館 8 月 20・21 日(戦跡・四面石塔・布良)
 - ・韓国水原まちづくりセンター 12 名来館 8 月 28 日(//)
- ② 濟州島の海女移民史の聞き取りと墓地(鴨川市・長興院)調査
 - ・李(国本)徳雄氏 保田在住・在日濟州道人会事務局、耽羅研究会
 - ・鴨川市有志(新婦人の会鴨川支部等)

(3) 日米交流と調査研究

- ① アメリカ先住民とアワビ文化の研究 九州大学大学院比較社会文化研究院・太田好信教授
- ② 明治期のモンレーのアワビ移民(小谷源之助・仲治郎兄弟)と米軍の本土侵攻計画「コロネット作戦」